



Cisco ISR 2800 シリーズ CompactFlash メモリ カードの取り外しおよび取り付け手順

このマニュアルでは、Cisco Integrated Service Router (ISR) 2800 シリーズにおける CompactFlash メモリ カードの取り付けおよび取り外し方法について説明します。内容は次のとおりです。

- [静電破壊の防止 \(p.2\)](#)
- [CompactFlash メモリ カードの取り外し \(p.3\)](#)
- [CompactFlash メモリ カードの取り付け \(p.4\)](#)

静電破壊の防止

CompactFlash メモリ カードは ESD（静電気放電）による損傷を受けやすい製品です（静電破壊）。静電破壊は電子カードや電子部品の取り扱いが不適切な場合に発生し、故障または間欠的な障害をもたらします。

ESD による損傷を防ぐために、次の注意事項に従ってください。

- 静電気防止用リストまたはアンクルストラップを肌に密着させて着用してください。
- ストラップの装置側をシャーシの塗装されていない面に固定します。
- 取り外した CompactFlash メモリ カードは、静電気防止用シートに置くか、静電気防止用袋に入れてください。カードを返却する場合は、取り外したあと、ただちに静電気防止用袋に入れてください。
- カードと衣服が接触しないように注意してください。リスト ストラップは身体の静電気からカードを保護するだけです。衣服の静電気が、静電破壊の原因になることがあります。
- 取り付け作業が完了するまでは、リスト ストラップを外さないでください。



注意

安全のために、静電気防止用ストラップの抵抗値を定期的にチェックしてください。抵抗値は 1 ~ 10 Mohm でなければなりません。

CompactFlash メモリ カードの取り外し

シャーシから CompactFlash メモリ カードを取り外す手順は、次のとおりです (図 1 を参照)。



注意

CompactFlash メモリ カードにアクセス中に、シャーシから CompactFlash メモリ カードを取り外さないでください。CF LED は、フラッシュ メモリへのアクセスを示すために点滅します。フラッシュ メモリにアクセス中に、ルータから CompactFlash メモリ カードを取り外すと、ルータに損傷を与える可能性があります。

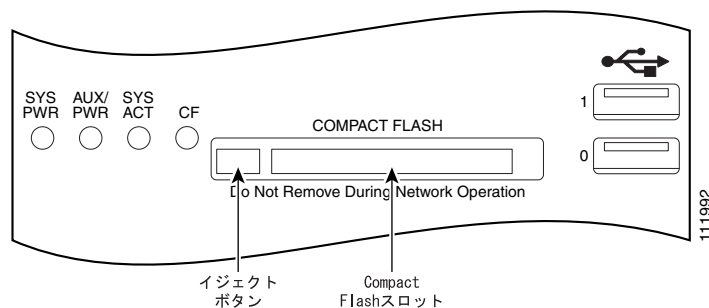
- ステップ 1 CompactFlash メモリ カードの隣にあるイジェクト ボタンを押します。イジェクト ボタンは外側に動くので、パネルから突き出ます。
- ステップ 2 再びイジェクト ボタンを押します。これにより、CompactFlash メモリ カードが一部スロットからはみ出した状態になります。
- ステップ 3 スロットから CompactFlash メモリ カードを引き出します。
- ステップ 4 イジェクト ボタンがベゼルに揃うまで押し込みます。



注意

イジェクト メカニズムの損傷を防ぐためには、CompactFlash メモリ カードを取り出すために使用していないときは、イジェクト ボタンが完全に (ベゼルに揃うまで) 押し込まれた状態にしておく必要があります。

図 1 Cisco ISR 2800 シリーズの CompactFlash メモリ カード スロット



CompactFlash メモリ カードの取り付け

CompactFlash メモリ カードを取り付ける手順は、次のとおりです (図 1 を参照)。

ステップ 1 イジェクト ボタンが完全に押し込まれた状態で、パネルから突き出ていないことを確認します。



(注) イジェクト ボタンがパネルから突き出ている場合は、ベゼルに揃うまで押し込みます。

ステップ 2 完全に収まるまで、スロットに CompactFlash メモリ カードを挿入します。イジェクト ボタンは、パネルに揃った状態を保ちます。



(注) CompactFlash メモリ カードを挿入したあとにイジェクト ボタンがパネルから突き出ている場合は、CompactFlash メモリ カードを取り外し、カチッという音がするまでイジェクト ボタンを押し、もう一度 CompactFlash メモリ カードを挿入します。



注意

イジェクト メカニズムの損傷を防ぐためには、CompactFlash メモリ カードを取り出すために使用していないときは、イジェクト ボタンが完全に押し込まれた状態にしておく必要があります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると妨害電波を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対応を講ずるよう要求されることがあります。

CCSP、Cisco Square Bridge のロゴ、Cisco Unity、Follow Me Browsing、FormShare、StackWise は、Cisco Systems, Inc. の商標です。Changing the Way We Work、Live, Play, and Learn、iQuick Study は、Cisco Systems, Inc. のサービスマークです。Aironet、ASIST、BPX、Catalyst、CCDA、CCDP、CCIE、CCIP、CCNA、CCNP、Cisco、Cisco Certified Internetwork Expert のロゴ、Cisco IOS、Cisco Press、Cisco Systems、Cisco Systems Capital、Cisco Systems のロゴ、Empowering the Internet Generation、Enterprise/Solver、EtherChannel、EtherFast、EtherSwitch、Fast Step、GigaDrive、GigaStack、HomeLink、Internet Quotient、IOS、IP/TV、iQ Expertise、iQ のロゴ、iQ Net Readiness Scorecard、LightStream、Linksys、MeetingPlace、MGX、Networkers のロゴ、Networking Academy、Network Registrar、Packet、PIX、Post-Routing、Pre-Routing、ProConnect、RateMUX、Registrar、ScriptShare、SlideCast、SMARTnet、StrataView Plus、SwitchProbe、TeleRouter、The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient、TransPath、VCO は、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. または関連会社の登録商標です。

このマニュアルまたは Web サイトで言及している他の商標はいずれも、それぞれの所有者のもです。「パートナー」という用語を使用しているも、シスコシステムズと他社とのパートナー関係を意味するものではありません。(0406R)

Copyright © 2004 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。

シスコシステムズでは以下のURLで最新の日本語マニュアルを公開しております。
本書とあわせてご利用ください。

Cisco.com 日本語サイト

http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/

日本語マニュアルの購入を希望される方は、以下のURLからお申し込みいただけます。

シスコシステムズマニュアルセンター

<http://www2.hipri.com/cisco/>

上記の両サイトで、日本語マニュアルの記述内容に関するご意見もお受けいたしますので、
どうぞご利用ください。

なお、技術内容に関するご質問は、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。



シスコシステムズ株式会社

URL:<http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL:<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter/>

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL.03-5549-6500 FAX.03-5549-6501